

のみだより

2009

第20号



くらしの安全を守ります!!
(能美市自衛消防団合同訓練大会)

● 定例会報告	2
● 一般質問	4
● 委員会報告	8
● 討論	10
● 視察報告	10
● 傍聴に行こう	12

発行日：平成21年7月28日

発行：能美市議会

編集：広報特別委員会

〒923-1297 能美市役所辰口庁舎

石川県能美市来丸町1110番地

TEL：(0761) 52-8007

FAX：(0761) 52-8022

E-mail：gikai@city.nomi.lg.jp

平成21年度一般会計補正予算 可決

今年度のまちづくり、本格的に始動!!

第2回定例会において、歳入・歳出それぞれ7億9,000万円を追加し、歳入・歳出ともに総額205億5,100万円とする補正予算を可決しました。

今回の補正予算は、「準通年型」であった当初予算に、政策的な経費などを積極的に追加したものです。

主な補正は以下のとおりです。

主な補正内容

都市基盤の整備・活力ある地域づくり

- ・いしかわサイエンスパークリフレッシュ施設整備事業
(2,000万円の新たな追加補正)

いしかわサイエンスパークの施設整備として、体育館建設に係る設計費。

- ・地域商品券事業支援助成金
(1,015万円の新たな追加補正)

市商工会が発行した期限付きプレミアム商品券事業に係るプレミアム相当分を支援。

- ・(仮称)能美インターチェンジ調査事業
(500万円の新たな追加補正)

インターチェンジの採算性を見極めるため、直近のインターチェンジ利用実績と北陸道につながる県道、市道の交通量の解析調査費。

医療・地域福祉の充実

- ・第23回全国健康福祉祭いしかわ大会
(235万9千円を追加補正し、265万9千円に)

「ねんりんピック」開催に向けての準備経費、リハーサル大会の経費。

- ・保育料電算委託料
(189万円を追加補正し、315万円に)

18歳以下の子が3人以上いる世帯は、第3子以降の保育料を半額に。そのための電算システム改修費。

- ・妊産婦・乳幼児医療機関委託検診事業
(2,109万円を追加補正し、4,320万2千円に)

安心して出産できるように、妊婦検診を5回から14回に。

教育・文化の振興・充実

- ・スクールバス購入事業
(700万円の新たな追加補正)

校外学習や部活動などで利用が多いマイクロバス1台を更新。

- ・小学校コンピューター学習推進事業
(1,650万円の新たな追加補正)

寺井、辰口、宮竹の3小学校が対象(各550万円)。より充実した授業を行うため、コンピューターの台数を2人で1台から1人で1台に。



長年にわたる功労を称えて

全国市議会議長会及び北信越市議会議長会において、長年にわたる地方自治の功労を称えて、次の方々が表彰されました。

全国市議会議長会表彰者

畑中 晃昭、井出 善昭、近藤 啓子、中野眞治郎(在職10年以上)

北信越市議会議長会表彰者

明福 憲一(在職15年以上)

杉田 隆一、金森 修栄、北角 耕一、荒田 正信、高木 雅宣

畑中 晃昭、井出 善昭、近藤 啓子、中野眞治郎(在職10年以上)

表彰規程・・・市議在職期間と町議在職期間の1/2を通算したもの

審査結果一覧

		議 案 名	採決結果	付託 委員会	委員会 採決結果
議 案 (5件)	41号	能美市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	◎	産	◎
	42号	能美市工業用水道給水条例の一部を改正する条例について	◎	産	◎
	43号	字の名称及び字の区域の変更について	◎	産	◎
	44号	平成21年度能美市一般会計補正予算(第1号)	○	総産教	◎
	45号	平成21年度能美市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	◎	教	◎
報 告 (10件)	2号	専決処分の報告について(能美市基本構想審議会条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて)	◎	総	◎
	3号	専決処分の報告について(能美市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて)	○	総	◎
	4号	専決処分の報告について(能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて)	○	教	○
	5号	専決処分の報告について(平成20年度能美市一般会計補正予算(第7号))	◎	総産教	◎
	6号	専決処分の報告について(平成20年度能美市国民健康保険特別会計補正予算(第4号))	◎	教	◎
	7号	専決処分の報告について(平成20年度能美市介護保険特別会計補正予算(第3号))	◎	教	◎
	8号	専決処分の報告について(平成20年度能美市公共下水道事業特別会計補正予算(第5号))	◎	産	◎
	9号	専決処分の報告について(平成20年度能美市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号))	◎	産	◎
	10号	専決処分の報告について(平成20年度国民健康保険能美市立病院事業会計補正予算(第3号))	◎	教	◎
	11号	専決処分の報告について(平成21年度能美市老人保健特別会計補正予算(第1号))	◎	教	◎
請 願 (1件)	3号	農地法の「改正」に反対する請願	不採択	産	不採択
議会議案 (1件)	6号	経済危機対策などに伴う地方負担の軽減を求める意見書	◎		

※ 採決結果(◎：全会一致で可決されたもの、○：賛成多数で可決されたもの、×：賛成少数で否決されたもの)

※ 付託委員会(総：総務常任委員会、産：産業経済常任委員会、教：教育福祉常任委員会)

臨時会が開催されました

5月29日、平成21年第3回臨時会が開催され、以下3件の市長提出議案を可決しました。

「能美市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について」

一般職職員の期末手当を0.15ヶ月、勤勉手当を0.05ヶ月減額するもの

「能美市常勤の特別職の職員の給与に関する条例及び能美市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について」

「能美市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について」

特別職、教育長及び市議会議員の期末手当を0.15ヶ月減額するもの

また、議会議案第5号 北朝鮮の核実験に抗議する決議が全会一致で可決されました。

倉元 正順
議員



Q 指定管理者制度の導入による
メリットを示せ

クアハウス九谷をはじめ九谷焼資料館などは、ふるさと振興公社が指定管理者となっているが、運営管理やサービス面で変化があったか。

A 本格的な導入への過渡的な段階である（副市長）

九谷焼美術館、九谷焼陶芸館などは、専門的な民間のノウハウを活用した方がよく、設置目的に沿って運営できるよう、現在は指定管理期間を1年としている。

クアハウス九谷は、これまでも市と一体となった運営を行ってきたため、指定管理期間を3年としている。

今後もコスト削減や民間の発想で事業を展開していきたい。

Q 類似施設の競合についての考えを問う

7月にオープンする能美市温泉交流館とクアハウス九谷との競合についてどのように考えているか。

A 利用目的の違いがあり、競合は生じない（副市長）

クアハウス九谷は温泉利用型健康増進施設であり、温泉交流館は、人々がのんびりと温泉を楽しむといった癒しが最大の特徴である。施設のコンセプトに違いがあり、似て非なる施設としてとらえている。



▲さらなる活性化に向けて（クアハウス九谷）

米田 敏勝
議員



Q 山口町と接続する隣接幹線道の整備を急げ

隣接する一部道路の障害箇所により、整備された土地が閉塞的となり、その価値や評価が半減している。風通しの良い幹線道として早急に整備することが、企業誘致の促進を早め、地域の発展に大きく寄与すると考えるがどうか。

A 前向きに協議を進めていきたい（市長）

行政区域外の道路の問題でもあり、小松市の担当課とも協議している。特に道路に隣接する土地所有者の心情を考慮するとともに、両市の利益と繁栄に寄与できる方策を考えていきたい。

Q 美川第2大橋計画への意気込みは

市民や企業、さらには南加賀全域にとって、大変物流効果の高い橋として建設促進が期待されている。市長の意欲と意気込みは。

A 早期の事業展開に努めたい（市長）

白山市とも協議を進め、早急なルート決定に努めるとともに、県に対しても整備促進について強く要望していきたい。



▲地域発展につながる道に

青山 利明 議員



Q 軽自動車税の減免でエコカーの普及を

次世代自動車の普及のために、電気自動車などの所有者に対して税の減免を実施せよ。

また、公用車の環境対応車への買い替えの推進を。

A 財政状況等の推移や他市の動向を見て対応したい(市長)

減税については、県や他市の動向を見ながら対応したい。

また151台ある公用車のうち、ハイブリッド車は2台である。順次、小型車、ハイブリッド車の購入を検討したい。

Q スクールニューデール構想(※)で教育環境の充実を

新経済対策を活用し、小中学校に太陽光発電パネルを設置するなど、エコ改修せよ。

A 教育機器の充実から始めたい(市長)

重要な政策として検討していきたいが、今回の補正予算での対応は困難であり、まずはコンピューターやデジタルテレビの整備をしていきたい。

※スクールニューデール構想：国の経済危機対策のひとつ。学校施設の耐震化、エコ化、ICT（情報通信技術）化等を一体的に推進する構想。

Q 雇用調整助成金を市独自に助成せよ

中小企業の場合、手当等の9割を国が助成している。残り1割を市で助成できないか。

A 不況対策を適宜、迅速に展開している(市長)

企業の従業員の教育費用の不足分として、1回あたりの研修に10万円を限度として助成する。



▲公用車にもエコの心を

北村 國博 議員



Q 公設民営の農産物直売所を設置せよ

地産地消の拠点として、各農家が農作物を持ち寄り値段をつけて直接販売する常設型農産物直売所を市内要所に設置せよ。

A 身近な地産地消推進策として、具現化を検討したい(市長)

公設民営の農産物直売制度の導入は、農業後継者不足が深刻な農村集落の活力強化にもつながると思っている。現在ある、いきいき市やふれあい青空市などの活動と連動し、統合も含めた調整を図りながら、具現化に向け検討をしていきたい。

Q 辰口丘陵公園のテニスコートを全面改修せよ

丘陵公園テニスコートは老朽化が激しく、コート表面が危険な状態である。それが一因で利用者が

半減している。

改修するとともに丘陵公園やいしかわ動物園と市の他施設(資源・資産)との積極的な相互連携を図れ。

A 県公社や県当局に積極的に要望していく(市長)

丘陵公園テニスコートは、県民ふれあい公社の直轄事業であるが、厳しい財政上の問題から全面改修に至っていない。市内主要施設は県内でもトップクラスの来訪客を誇る。さらに連携を強化し、交流人口の増加や地域経済の活性化に努めたい。

Q 空いた公的施設を宅老施設に転用せよ

地域での一時預かりや宿泊などのサービスを行う宅老施設の整備を行う自治会、町内会等にその整備に係る経費の一部を補助する制度を提案する。

A 高齢者を地域全体で支え合う事業を行いたい(市長)

地域住民自らの参画による、高齢者・障害者・子どもの共生型サービスの活動拠点は必要である。現行制度とは別立てで施設の活用や自治公民館の改修整備に対する支援策を整備充実できないか、早期に先進地事例を視察したい。

嵐 昭夫 議員



Q がん検診受診率の向上と支援策をせよ

国からの交付金を活用し、受診料の助成をせよ。また「女性特有のがん対策」に対して「健康手帳」と「無料クーポン券」を配布し、確実な実施を。

A 受診率アップを最重要課題として取り組んでいきたい
(市長)

Q 子育て支援と幼児教育費の無償化を

「子育て応援特別手当」支給を継続し、安心して子どもを育てられる環境づくりをせよ。

A 今後も充実した支援を続けた
(市長)

政府の追加経済対策「子どもと家族応援手当」についても、補正予算成立後、「子育て応援特別手当」と同様、速やかな交付に努めたい。市の子育て支援制度の充実は図られており、乳児教育費の無償化など追加の改善策は現時点で考えていない。

Q 里山、里海の再生及び耕作放棄地の再生を

いしかわ森林環境税の継続を県に要請し、雇用創出対策事業の活用で人材を確保せよ。

A 中山間地の耕作放棄地や休耕田を活用していきたい
(地域振興部長)

県に対し本制度の継続を働きかけていく。休耕田を活用し、都市農村交流活動を実施している。



▲気軽に検診に来てね
(市立病院：マンモグラフィ装置)

北野 哲 議員



Q 光ファイバー通信の促進を

市内事業主から強い要望を聞く。周辺都市はほぼ完了している一方、市内の一部では直接契約により、高額料金を支払っている。企業の情報収集の迅速化、企業立地や若者の定住化促進など、市の発展性を考慮し、早急な対応を。

A 実現への方策を探りたい
(市長)

光通信整備は多額の費用を要する。ケーブルテレビ網の活用で、一般家庭レベルでは光通信と遜色ないサービスを得られると考えている。今後は企業立地や定住化促進等のため、整備実現への方策を探りたい。

Q 地元農産物を給食に積極的に使用せよ

米は農家から直接購入して炊飯し、野菜は農家やシルバー人材センター、JA婦人部に栽培を依頼して給食に使用してはどうか。

A 地元農産物、特産品の使用に努めている(教育長)

米はJAから購入し、炊飯センターから配送されている。野菜は寺井、根上地区では地元スーパーや商店から購入し、辰口給食センターは入札により業者を選定している。さらに食育として田植えや稲刈り、サツマイモや丸いもの栽培体験を通じて食に関する知識を喚起させていきたい。



▲愛情たっぷり、とれたての野菜を届けます

近藤 啓子 議員



Q 平和へのリーダーシップを

オバマ大統領のブラハ演説は画期的である。核兵器廃絶への世界の流れは大きく動いている。平和市長会議への加盟を。

A オバマ大統領の演説は大いに評価する(市長)

世界唯一の被爆国として、核兵器廃絶に対する願いは強い。国民全体の運動が大事であり、今後検討を深める。

Q 子どもの医療費の窓口無料化を

不況と少子化のもと、子育てにおけるお金の問題は切実である。無料化に向け県当局と話し合う前向きな動きもあった。ぜひ実現を。

A 医療費窓口無料化は、よい方向(市長)

国からのペナルティと県の補助要綱の関係から、補助金のカットがあり現状では困難である。粘り強く交渉していきたい。

Q 75歳以上の医療費の無料化を

医療制度や税制度の改悪で、高齢者の負担は増えている。40年前、旧寺井町が県下で初めて老人の医療費無料化を実現した経緯がある。安心して老後を送れるように、医療費の窓口無料化を。

A 財政面から困難(市長)

高齢者の所得や貯蓄状況、世代間の公平、医療費の高騰など検討課題としたい。



▲診察後の負担を和らげるために(市立病院)

善田 善彦 議員



Q さらなる雇用対策の強化を

景気悪化の影響で、ローンを抱える中高年層が多く失業している。高齢者や子どもを持つ世代の雇用機会創出を緊急に講じよ。

A 国、県の制度活用により、拡大と安定確保に努めたい(市長)

景気悪化の悪化は世界的な規模であり、1自治体で解決できることには限界がある。新工業団地に進出する企業をはじめ、他の企業に対しても、新規雇用者の地元採用を強く要望していく。

Q 市長への提案ハガキ導入を

多くの意見やアイデアを募り、より良い市の発展のために「市長への提案ハガキ」を導入してはどうか。

A 市ホームページ内の「市政Q&A」を活用したい(市長)

ホームページ上に「市政Q&A」を開設しており、ご質問やご意見をいただいている。パソコンを使用しない方も多く、先進事例等を参考に検討する。

Q 「おでかけ市長室」の実施を

市長が地域に出向き、市政や地域の諸問題、要望などについて対話し、意見交換する場を設けてはどうか。

A 各地域での会合の機会を多く持ちたい(市長)

現在、PTA役員会、壮年団、老人会などの会合で市政懇談を行っている。幅広い意見交換ができるように、先進事例等を参考に前向きに検討したい。



▲地元雇用の期待がふくらむ(仮称)能美市新工業団地

福田 豊 議員



Q 緊急時の子育て支援体制を

災害等の緊急事態発生により、広範囲に保育園が休園となった場合、自宅での保育が必要となる。保育園児を持つ親の「一日保育士」体験や、保育士の資格取得に対する支援などの考えはないか。

A 臨時休業時の対応はしている
(市長)

現在、入園児童の保護者を対象に一日保育を実施している。今後とも継続し、緊急時に対応できるようにしたい。子どもを持つ方の保育士資格取得へのサポートは大変難しく、困難かと思っている。

Q 防災無線活用の方性は

現在、デジタル化、一本化の整備が進められている防災無線で、

緊急地震速報などを伝える全国瞬時警報システム(JALERT)(※)を導入せよ。

A 導入を検討し、整備を進める
(市長)

デジタル化と一体化の過程で、JALERTの導入を検討し、緊急情報を瞬時に伝達できるよう整備を進めたい。

※全国瞬時警報システム：通信衛星と市町村の同報系防災行政無線を利用し、緊急情報を瞬時に伝達するシステム。

Q 「黄色いハンカチ作戦」の推進を

小杉町が進めている「黄色いハンカチ作戦」(※)を市内全域に広めてはどうか。

A 全町内会に提案していきたい
(市長)

まさに自助、共助の対策である。緊急時の安否確認に有効な手段として、提案していきたい。

※「黄色いハンカチ作戦」：大規模災害時に、我が家は大丈夫であるとのサインとして、各戸に配布した黄色いハンカチを掲示。速やかな安否確認が可能となる。

総務常任委員会

◎倉元 正順、○嵐 昭夫
荒田 正信、畑中 晃昭、井出 善昭
米田 敏勝、善田 善彦

委員会における質疑応答

Q 21年度補正予算に税務事務関係のシステム導入予算が計上されているが、税を含めた事務電算化による費用対効果はどうか。

A 国・県の税制改正による事務の複雑・多様化、住民サービスの向上に対応するには、電算化は不可欠である。また、GIS(総合地理情報システム)導入は、道路台帳の整備をはじめ、高齢者など一人世帯の分布状況把握など、各種業務に地理情報を活用することが可能となり、事務改善につながる。

Q 高額となっている、税等の過年度滞納繰越額について、どう歯止めをかけるか。

A 当初4人だった収納対策室も6人体制へと強化された。滞納管理システムを導入することで、納付義務のさらなる周知と徹底を図っていく。

Q 市民満足度調査の実施時期と調査内容は。また、対象者の選考方法は。

A 本年10月から11月の実施を予定している。設問内容は総合計画に掲げる50項目の指標の中から、半分程度に絞り込んで行う。20歳以上の市民約3,000人をコンピュータで無作為に抽出する。



▲1人でも多くの笑顔のために

産業経済常任委員会

◎北野 哲、○北角 耕一
杉田 隆一、高木 雅宣、白川 寛
中野眞治郎、北村 國博

委員会における質疑応答

Q 消費者行政活性化事業とは。

A 消費者行政への啓発活動を行うものである。同時に、県消費生活支援センターの小松消費生活相談室が今年度末で廃止されることに伴い、市独自の施設を開設する準備として、職員研修費用を計上している。

Q (仮称)能美インターチェンジ調査事業とは。

A インターチェンジ設置の費用対効果を把握するための交通量解析調査である。設置する場合、ETC（自動料金収受システム）専用の簡易型インターチェンジを想定している。経済面など波及効果もあると考えるため、各種調査を行い、事業費や採算性を検討し、設置に向けて前向きに国や県などに働きかけていきたい。

Q 南中央線道路改良事業の進捗状況は。

A 用地交渉は平成21年度で完了したい。23年度までに寺井駅西から浜開発線までの完成を予定している。



▲工事を進めている、南中央線道路

教育福祉常任委員会

◎居村 清二、○小手川正明
青山 利明、明福 憲一、近藤 啓子
東 正幸、福田 豊

委員会における質疑応答

Q 来年開催予定のねりんピック石川2010大会では何名の人員が能美市に入るのか。また宿泊施設はどのように考えているか。

A 来年10月の本大会には約900名、本年のリハーサルには約300名を予定しており、市内の宿泊施設を中心に県が調整を進めている。



マスコットキャラクター「ゆーりん」



▲熱戦がくりひろげられる県サッカー・ラグビー場

Q 根上学習センター記念事業は、どのような内容を考えているか。

A 根上いん石落下15周年記念事業として、8月に子ども宇宙科学イベントを開催し、いん石にちなんだキーホルダーを来場した子どもに配布する予定である。

Q 女性特有のがん検診推進事業で、乳がん検診の受診率推移と今後の具体的な対策は。

A 乳がん受診率は、平成18年度24.7%、19年度26.1%、20年度27.1%と少しずつ増加傾向にある。今後の対策として、女性団体協議会等へ出向き重要性を説明し、検診を促していくとともに、国からのクーポン券を個別通知で届け、少しでも多くの方が受診できるよう働きかけていく。

反対

今こそ、
暮らし・福祉優先の予算に

近藤 啓子 議員

平成21年度本格予算を、205億5100万円とするものである。市長選後の政策予算として、市民の暮らし応援の施策を期待していたが、あまりにも反映されていない。

1 社会保障費の抑制路線と税制改悪での負担増となっている中で、少子高齢化対策を思い切って進めるべきである。

昨年と同じく後期高齢者医療保険料の上乗せ軽減を早急に実施すべきである。約400万円あれば可能である。

子どもの医療費窓口無料化は切実な願いである。

2 大型公共事業の厳格なる見直しをすべきである。

景気低迷で、財源不足が心配されること、この先交付税が減る見通しであることなどから、本格的に不要不急の事業見直しを厳格に進めるべきである。

年度末の市債残高は280億円を超えることになる。

(仮称)能美インターチェンジは、時間にすれば5分の短縮のために、30億円もかけることになる。緊急性のない事業は厳しく見直しが必要である。

賛成

懸案事項に留意した
補正予算を評価

居村 清二 議員

平成21年度の一般会計補正予算は、計上が見送られていた政策的な事業費の一部が計上されたものであり、教育・文化の振興、医療・福祉施設の充実、そして都市基盤の整備など、それぞれの事業の実現に向け、効率的に配分されたものとなっている。

また、いしかわサイエンスパークのリフレッシュ施設の事業着手は、産学官はもとより地域間の交流が図られ、市のさらなる活性化と人づくりが推進されるものと思われる。

さらには、川北大橋の通行料補助費がこの度計上されたことから、今後、地元観光

産業の活性化と地域住民の負担軽減につながるものと期待している。

その他、平成20年度の一般会計をはじめ、各特別会計の補正は、年度末における事業費の確定や決算見込みによるものであり、適正な事業執行を行なうための所要の補正であることから、賛同するものである。

なお、執行部には、財政環境が益々厳しくなると思われることから、今後とも、将来を見据えた健全な行財政運営に心がけていくことを願い、今定例会に上程された全ての議案、報告に対し賛成する。

議会運営委員会

○視察日 平成21年6月29日(月)～30日(火)

○視察先 兵庫県篠山市議会

○視察内容

篠山市の財政危機に対する議会の対応

篠山市は、人口4万5千人、面積377k m²で、平成11年に4町が合併して誕生し、10年目を迎えた。当時は、平成の合併第1号として地方分権に対応した都市づくりを目指し、600を超える自治体の視察を受けるなど全国から注目を集めたが、合併時に調整された建設計画のハード事業を前半5年間で執行したことから収支バランスが崩れ、財政危機に陥った。

2年前から篠山市再生計画に着手、議会として「行財政改革調査特別委員会」を設置して124項目の事務事業の審査を行い、財政再生計画を策定した。

これからは、この計画を実行して"自治体再生のトップランナー"を目指すとしている。

篠山市議会のあり方研究会の設置と研究事項

平成20年6月に設置された議会のあり方研究会は、議会の活性化や市民に開かれた議会を目指し、短期、中期、長期の3段階で十数件の課題の検討を進めている。特に一般質問では、一括質問・一括答弁方式から一問一答方式に変更し、今年6月議会から実施した。内容が理解しやすくなったことと緊張感がでて、傍聴者にもわかりやすかったと成果を披露された。

能美市においても中長期の財政見通しを常に念頭に置き、行政経営を行う必要を痛感するとともに、議会のあり方研究会を通じた議会の役割や活性化策についても検討をスタートさせる必要を感じた。



▲行財政の再生計画をスタートさせた篠山市の庁舎

西川流域・海岸対策特別委員会

○視察日 平成21年7月2日(木)～3日(金)

○視察先 国土交通省関東地方整備局
荒川上流河川事務所(埼玉県)

○視察内容

治水対策と河川整備について

・荒川上流河川事務所の取り組み

下流域に首都圏を抱えることから、保水・遊水機能を高めることの重要性、あわせて上流域において都市化が進んでいることから、南畑排水機場、朝霞水門、朝霞調整池といった治水施設設置の必要性和その効果について、資料等を示してもらった。

・現地視察

手取川同様に平成9年の河川法改正を受け、荒川水系河川整備基本方針を策定し、整備を進めている。

ただ、荒川本線の完成堤防率は23%と低く、早く堤防を整備し、安全を確保していかなければならない。今回、管轄の大谷川浸水対策事業(大谷川樋門新設・小畔川築堤と排水機場整備による逆流防止策)と葛川水門新設工事現場を視察した。

資料によると、大谷川流域において、近年都市化が進み、市街化区域面積が30年で約2倍以上になった。一方で、大谷川の畔川合流地点は閉めきられておらず、本川の増加に伴う逆流及び内水により、度々浸水被害を受けていた。結果、畔川築堤工と坂戸、鶴ヶ島下水道組合による排水機場が設置された。

次に、葛川水門については、越辺川、高麗川と葛川合流部が未改修であるため、葛川への逆流による浸水被害の防止のため、水門を設置しているとのことである。

いずれにしても、度重なる浸水被害といつ起こるともわからない大洪水を想定しながら、早期の対策実現を目指しての事業であることがうかがわれた。

治水対策は、浸水被害を重ねたのち、ようやく施設が建設されるという経緯をうかがうと、要望活動には根気があることを改めて実感した。



▲大谷川樋門で説明を受ける委員

能美古墳群保存整備特別委員会

○視察日 平成21年6月26日(金)～27日(土)

○視察先 さきたま史跡の博物館・風土記の丘(埼玉県行田市)
かみつけの里博物館・上毛野はにわの里公園(群馬県高崎市)

○視察内容

さきたま史跡の博物館・風土記の丘

国指定史跡 埼玉古墳群には、5世紀後半から7世紀初め頃までの大型古墳9基が残る。博物館には、国宝 金錯銘鉄剣を所蔵し、来客数は年間約100万人にのぼる。

古墳公園「風土記の丘」内の解説板にユニバーサルデザインを導入、収集資料をデジタルで残すなど、民間とも技術の提携を行っている。

整備課題として、古墳群全体の範囲を把握できていないことや、樹木が公園全景の眺望を妨げていること、交通の便の悪さなどが挙げられる。

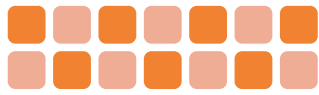


▲「地域に愛される」学びの場に(上毛野はにわの里公園)

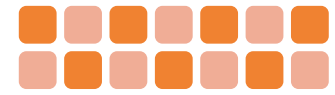
かみつけの里博物館・上毛野はにわの里公園

「地域に愛される博物館」を目指し、市内の教師、子どもたちに来館を強く訴えることをはじめ、一流考古学者による講習会や、まが玉・はにわづくりの体験教室の開催など、地域を巻きこんでのファンづくり活動を精力的に行っている。

今回の視察を通して、博物館整備には、それぞれ自治体規模が異なる中、運営面も考慮した上で、まちづくりに生かす方策を見つけることも大切と痛感した。



傍聴に行こう！



傍聴席満員！ 過去最多53名！

6月16日に行われた、一般質問の傍聴には、定員40名を大きく上回る53名の方が傍聴に訪れました。議員と執行部の生のやりとりを傍聴した感想をいただきました。

議会傍聴参加に思う

老人クラブの基本目標である友愛活動も、世代の変化とともに自分さえ良ければという自己のみの身勝手に強く心を痛め、老人クラブ辰口支部会員の道徳心を高める一助として市政に関心を持っていただくことを願い、傍聴を計画いたしましたところ、多数の希望者のご賛同をいただき、6月16日議会傍聴をさせていただきました。

当日は初めて傍聴される会員の方もおられましたが、厳粛な中にも市政への最大関心事であります道路問題、農業関係問題、社会福祉関係、市内の施設管理体制等々の質問に市当局の細やかな答弁がなされ、有意義な傍聴会でした。

関係各位に御礼申し上げます。

老人クラブ 辰口支部長

議会傍聴をして

過日開催の能美市議会6月定例会において、老人クラブ辰口支部会員の一人として一般質問を傍聴する機会を得ました。席は私たちの他、市商工会女性部の方々等で満席の盛況でありました。議員各位も日頃の研鑽の一端を一般質問の形で表現され、市民の代弁者として行政執行に向けてご活躍の姿を垣間見ることができました。

中でも介護問題、少子化問題、環境問題関連の質問に関心が惹かれました。特に質問を通し具体的な提案型及び再質問の展開など聞き応えのあるものでした。当市は県内10市の中でも海山川と自然環境にも恵まれています。一方、自治体としての行財政指数、人口増等においても最も住みやすい地域として上位ランクされる誇れる市であります。どうぞ今後一層の合併効果が見られる地域となりますよう、地域リーダーとして議員各位のご活躍を期待します。

74歳 男性

～平成21年第3回市議会定例会の会期日程が決まりました～

本議会が開催されるのは次の3日間です



9月1日(火) 11:00～ 議案上程、提案理由の説明

3日(木) 10:00～ 一般質問、質疑、議案の委員会付託

17日(木) 11:00～ 委員長報告 同報告に対する質疑、討論、採決

編集後記

この季節になると我が家の犬は朝5時頃に吠え始め、散歩の催促をする。昼時間が最も長い、夏至を過ぎ、梅雨とともに、やがて来る熱い夏を意識するこの頃である。

2月～3月にメキシコ、アメリカに端を発した新型インフルエンザは、短期間で世界各地に飛び火し、6月には世界113カ国で約6万人が感染した。日本でも千人を超える感染者を出し、夏に向かうとはいえ、感染者は不気味に増え続けている。能美市も対策本部を設置しているが、市民への周知徹底が重要であり、情報伝達を機敏に行うとともに、予防に努めることを徹底したい。

6月定例会における一般質問では傍聴席が全て埋まり、立ち見ができる賑わいを見せ、関係者一同喜んでいました。市民の皆さんの率直な意見が議会に入ってくるように、のみだよりへの寄稿や風通しの良い双方向の交流を進めていきたく、積極的な参画をよろしくお願ひします。

(小手川正明)

広報特別委員会 委員長：小手川 正明 副委員長：嵐 昭夫 委員：北角 耕一、井出 善昭、米田 敏勝、北村 國博

